



刊夕日十二月四

常新新聞
 定價 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 郵税 五厘 印刷費 五厘
 印刷所 本報印刷部
 發行所 本報發行部
 電話 二〇三番

常新論壇
 勿來關趾顯彰 (二)
 の意義に就て
 一有志寄

勿來遺跡顯彰のことと思ひ立たれたのは誠に然あるべきことだと考へられます。またそれはかりでなく現代の日本は、軍國主義であるとか、好戦國であるとか、甚だしいのになりますと侵略主義の國であるといふやうな誤解をうけておられます。日本の軍國主義といふものはそんなに危険なものかといふと決してさうでない日本の武といふものは、正しい主張と共に存在する所謂神武であつて、その精神の發露は、衣川の戦における義家のやうな、西歐諸國の歴史には到底見られない立派な行動が、過去三千年

毎日前午十時一から
卅分間
 友仙モス一尺
 十二錢で廉賣
春衣……の
 大賣出し
 平・土橋
 鹽屋吳服店
 電話二二番

常馨文藝
 その頃の俺
 植頭憲
 青白い佛頂面
 うすら悲しい指先きに
 うろつく魂を
 抱きしめて
 街頭に立つ
 俺の瞳……
 三月の心は
 可細い風を送る
 ガラス戸の中に
 蠢のく虫は
 たつた一匹
 疑つと見詰める

花は公園吳服は三井
 四月十九日より**大廉賣**
 本セール一反 七圓九十錢 着尺モス一反 五圓
 英ネール一反 一圓六十八錢 白新モス一反 一圓十五錢
 伊豫かすり一反 三圓二十錢 (三丈三三寸)
 花に競ふ新柄破格品澤山安く賣出します
三井吳服店
 新形洋傘各種

花見のお歸りには
 長橋町の……
 うざん まつやへ
 内科 小児科 淋病科 梅毒科
 (需應院入) 平町紺屋町
藤沼醫院
 電話五〇七番

春装ソ要具
 ツルヤ
 最新の流行柄豊富に
 取揃へました
 平町南町
看護婦會
 電話三〇七番

丸登式株店
 川添房二郎
 電話三三三番

銘柄	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五三〇
平銀行	五〇〇	六八〇
同新	一一五	一七五
磐越銀行	一一五	一〇五
磐城實業	五〇〇	四二〇
磐城實新	三五〇	二八〇
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七五
農工銀行	二〇〇	二五〇
同新	一一五	一八五
百七銀行	五〇〇	五二五
同新	一一五	一四五
七七銀行	一一五	九〇
東部電力	五〇〇	四八〇
同新	一一五	一一五
只見川電	一一五	七五
植田水電	一一五	一六五
二本松電	一一五	一四五
磐城建物	一一五	一六〇
磐城製菓	一一五	一五〇
磐城物産	一一五	一三五
平製氷	一一五	一八〇
好間軌道	一一五	二五〇
入山新	一一五	一四〇
小田炭礦	一一五	七〇
磐城炭礦	一一五	四一〇
同新	一一五	一八〇
磐城セメン	一一五	六〇〇
同新	一一五	四〇〇
平運送	一一五	六五

貴族院多額

納稅者互選名簿

本縣に於ける貴族院多額納稅者互選名簿に依れば有權者は左記十名であつて石城郡内諸橋久太郎、山崎與三郎、馬目太平の二氏が擧げられてゐる

直接國稅	住所	氏名	職業
一七、〇一、八	東白川郡石井村	松本島之助	農
九、八五〇、六三	石城郡平町	諸橋久太郎	金物商
九、六二四、一八	麻郡多方町	風間善九郎	金貨業
七、七一一、五八	郡山市	佐藤傳兵衛	農
七、六〇六、五四	同	佐藤傳	商
六、四四一、五〇	石城郡平町	山崎與三郎	醸造業
六、一八二、一九	郡山市	高田熊吉	商
六、〇一四、五五	信夫郡野田町	吉野周太郎	農
五、九八一、〇八	福島市	大島要三	會社員
五、八三九、八三	安達郡本宮町	渡邊眞藏	農
五、七八九、九五	伊達郡川俣町	武藤茂平	實業
五、一七三、七三	信夫郡瀬上町	島貫平助	農
四、七六六、九五	若松市	葛岡庄兵衛	商
四、五七一、一四	喜白川郡常陸村	白石禎	農
四、四九六、三九	石城郡内郷村	馬目太平	酒造業

妻まじい花見の人出に迷子が四十名

晴天の日曜日に三の酉がカチ合つた爲め七分咲きの松ヶ岡公園は人の群れに埋まり押すなぐの大騒ぎに付添えの

親達と離れて泣き

叫ぶ迷ひ子の数が四十名、花の間には磐城炭礦や磯原の團体が始め他幾十組かの連中が宴を張つて呑めや唄への大浮れ、泥酔して警察の手を煩した検束者は二名あつた、全く未曾有の人出と稱されて居るが平驛の乗降客を聞くに僅か一日間に乗客が一

完全聞えた東京の聲

磐城工業商會が設備したラジオ店前に人の山を築く

平町一丁目常盤屋時計店が店頭でラジオを装置すべく既に試験を了し目下夫々準備中の旨既報の如くであるが同町四丁目磐城工業商會に於ても同様の計畫あり兩三日來旭電氣株式會社より高田營業副部長拓殖同社員出張之れが裝置に従事十八日午前十一時東京放送局よりの感度測定を行ひたる處頗る成績良好にて夜間は店前に人の山を築き講演義太

雪がある

梅も末だ々々川前村の山奥石城郡川前村大字小白井附

雄辯大會の受賞者五名

聴衆五百餘名 石城郡聯合青年團雄辯大會

昨日開かれた 縣下聯合青年團大會

研究發表や團則の改正 二荒伯の講演

縣下聯合青年團大會は既報の如く十九日午前十時石城郡平町縣立磐城中等學校講堂に於て開催したが來會者香坂知事、鐘江官房主事、阿部、船尾兩閣其他臨席選出團員三百餘名出席した定刻大森副團長開會の辭に次いで國歌「君が代」の台唱ありて後鐘江社會課長の「國民精神作興」に關する詔書を奉讀し次いで各旨の奉讀、香坂知事の告示あり終つて鐘江社會課長座長となり庶務會計の報告、團則の一部改正の要點を説明したる後團長及び副團長の選舉に入り委員附託になり次いで各聯合青年團提出の協議事項



イワシの輕揚げ

イワシは中頃のよきものを選り頭をとり去り、腹中を町寧に洗つて中骨を抜き少量の鹽をふりまいて片栗粉

射擊會成績

優勝旗は平町 既報一昨日の縣下獵友會主催射擊會にては一等平町、二等郡山、三等岩瀬の成績順に優勝旗は平町の手に歸したが個人射擊の成績は左記の如くである

平町有權者は 四倍の増加

總數二千九百 平町町議選舉有權者名簿は本日から縦覧を許されたが總數二千九百廿二名であつて此の前の七百八十九名と比較して約四倍の増加である

花時に 物騒な若者

爆藥を持參 石城郡大野村八葉嶺山松本飯場内佐川義晴(三)は去る十八日櫻印のダイナマイト二箇及び導火線を所持して徘徊せる事發覺平署にて取調への上十九日檢事局に送

募集

文藝其他投稿を募集します

耳の兎

ちやつき風紀をみだすことが多いので、これを嚴重に禁止する特別法を發した右

大豆劇犬馬の勞 二卷 説明 石川曉舟

時代劇小雀峠 卷六 説明 宮一 尾關義明

大活劇馬賊の唄 卷全十 説明 松平夢世

東都聲樂家松下京子獨唱

等持院近來の大作

阪東妻三郎 主演 月形龍高 新平、マキノ雅子、助演

大江戸怪談 大活劇 影法師 七卷 説明 後藤 連續映畫 影法師 七卷 説明 後藤 影法師の皮肉な活躍は始まつた 影法師に教はれたお茶は女賊 影法師の皮肉な活躍は始まつた 影法師に教はれたお茶は女賊 影法師の皮肉な活躍は始まつた 影法師に教はれたお茶は女賊

十九日 東直直營 平劇場 五五